

広報 ながはま 12月号



お年寄りの交通事故防止

小さな手で善意をリレー

今月号の主な内容

- ふるさと長浜づくりをめざして…2~4
- 議会第四回臨時会……………5
- 一歳です(鎌田亜沙美ちゃん) ……5
- 昭和63年度9月末現在
長浜町の財政……………6~7
- ルポ・図書館だより……………8
- アメリカ農業研修体験記③……………9
- お知らせ・表彰……………9

子供達の発意で始まったこのキャンペーン、一か月後には大きな善意の輪となって帰ってくることでしよう。

同日長小では「さわやか交通安全集会」が開かれ、西田町長、杉大洲警察署長らの来賓から寄付を受けた後、笠にはつびの飛脚スタイルに扮装した六年生代表二十三人が「事故防止願う心の輪を広げ交通安全ありがとう」と書かれたかごやプラカードを手に町内に繰り出しました。

同日長小では「さわやか交通安全集会」が開かれ、西田町長、杉大洲警察署長らの来賓から寄付を受けた後、笠にはつびの飛脚スタイルに扮装した六年生代表二十三人が「事故防止願う心の輪を広げ交通安全ありがとう」と書かれたかごやプラカードを手に町内に繰り出しました。

お年寄りの交通事故が増加の傾向をたどっていることから、少しでも手助けになればと、長浜小学校(中野武夫校長)の児童会が「お年寄りを交通事故から守ろうキャンペーン」を計画。町内八つの小学校児童会にも呼びかけて、十一月八日から一か月間、リレー方式による募金活動をスタートしました。

児童会が募金活動

ふるさと豊浜づくりをめざして

町の将来像

長浜町では、行財政の長期計画として昭和四十七年に策定（昭和五十五年見直し）した「振興計画基本構想」を基本に諸施策を推進してきましたが、近年の社会情勢は高齢化、国際化、高度情報化等への進展、また経済構造面では高度技術型、知的集約型産業等、二十一世紀に向けて大きく変化しており、これらに的確に対応することが大切な課題となっております。

このような社会、経済構造の転換期にあつて長浜町では、昭和五十五年三月策定の「振興計画基本構想」、昭和五十九年十二月策定の「国土利用計画」、また昭和五十九年十二月策定の「過疎地域振興計画」等の諸計画を推進中ですが、これらの諸計画と国の「第四次全国総合開発計画」及び、愛媛県の「長期

計画」、地方生活経済圏計画」などの上位計画を基本に、二十一世紀に向けての長期的総合的町づくりビジョンとして、ふるさと長浜づくり21「長浜町総合整備基本計画」を策定しました。

この計画は、西瀬戸経済圏に指定された長浜町の地理的条件と、地勢や歴史、さらにコミュニティー、各種産業の状況、相互交通機関等を見直すとともに、各地域ごとの振興や生活環境の整備を進め、同時に臨海部の開発事業と調和を図りながら将来における長浜町の振興発展と住民福祉の向上を目的としています。

については、今月号から「長浜町総合整備基本計画」の全容をシリーズで紹介いたします。

町づくりの基本方針

【基本理念】この計画は「振興計画基本構想」で示している海・山・川の恵まれた「自然と人間生活の調和」を基調に、「豊かで魅力ある新しい町づくり」を目標として「楽しく住みよい町づくり」「豊かで働きがいのある町づくり」「美しい人情と文化の町づくり」の三つに「活力と個性あふれる町づくり」を加えた四つの柱を基本理念としています。

【基本方針】この計画は「振興計画基本構想」等の諸計画を統一した全体像として総合的に整理す

るとともに、各地域の特性を生かした広域的見地からの将来的ビジョンを策定し、長浜町全域の発展と振興を図ろうとするものです。計画は、五年または十年ごとに見直しを行い、時代の変遷に柔軟な対応が必要であると考えています。また、計画には、関係機関が施行する各種事業も含まれています。

町の将来像

1. 人口指標

下記指標は、昭和六十年を基準年次として、昭和八十五年までの人口動態を推定したものです。

その推移をみると、昭和六十三年から昭和六十八年の五年間は減少傾向で、昭和六十八年以降は、第二次開発事業の企業誘致による雇用拡大等により若干の定住化が進み、人口が次第に増えることが予想されます。

また、昭和七十年以降は、第二次開発事業の企業立地と完全操業及び町が推進するリゾート基地建设、住宅供給事業等の実施による人口増が推測され、目標年次の昭和八十五年には、第三次開発事業による雇用拡大と生活環境、都市機能施設の整備によって、目標人口の約一万四千二百人に達するこ

とが予測されます。ただし、この人口指標は、経済的、社会的、自然的諸条件の変動によっては、その予測動向の振幅が大きいことを予知しておかなければなりません。

長浜町の将来における人口指標

年次	人口(人)	備考
昭和60年	11,734	(昭和60年国勢調査実績)
65	11,000	推計
70	13,000	〃
75	13,500	〃
80	13,700	〃
85	14,200	〃

2. 経済指標

下記資料の昭和六十年年度町内総生産額は約百九十三億円であり、前年度に比べ約八・九%の伸びを示し、愛媛県の増加率二・一%を大幅に上回っています。このように著しい伸びを示した要因は、第二次開発事業に伴う第三次産業の大幅増が考えられます。

今後は、国の新経済五か年計画（昭和六十二年～六十七年度）と

長浜町の総生産及び分配所得額推移 (単位:百万円)

区分	年度	総生産				増加率 60/59	構成比		
		50	55	59	60		50	60	比較
町内総生産	第1次産業	1,926	1,569	2,023	1,941	△ 4.0	17.0	9.7	△ 7.3
	第2次産業	4,045	7,263	6,632	8,033	21.1	35.7	40.1	4.4
	第3次産業	5,350	8,086	9,712	10,042	3.4	47.3	50.2	2.9
	計	11,321	16,918	18,367	20,016	9.0	100	100	0
	(控除)帰属利子	△ 304	△ 598	△ 617	△ 683	10.7			
	総額	11,017	16,320	17,750	19,333	8.9			
分配所得		10,740	13,902	15,201	15,654	3.0			
住民1人当たり		817	1,231	1,334	1,334	5.5			
分配所得									

して経済審議会が答申している経済計画の実質経済成長率、年平均三・七五%を目標に、第一次産業については経営の近代化とリゾート開発及びレジャー観光産業を、第二次、第三次産業については、臨海部の第二次、第三次開発事業を強力に推進し、外部優良企業と地元企業の経営基盤強化及び運輸事業の拡大を図っていきます。さらに商業については、消費人口の定着増加と消費活動の増大を図り、その活性化と振興に努め、各産業ともに分配所得の向上を図ります。

なお、昭和六十五年には町民一人当たり分配所得を県平均水準(約

① この資料は愛媛県市町村所得統計による
② 「住民1人当たり分配所得」は単位:千円

町の将来像

百七十万円)ないし、二百万円以上になるよう経済政策の推進に努力します。

3. 総合交通体系のビジョン

ビジョン

第四次全国総合開発計画には、二十一世紀への基本方針として、「多極分散型国土の形成」がうたわれ、その達成方策として、全国一日交通圏の構築など、交通ネットワーク構想が提唱されています。

四国においては、四国縦貫・横断自動車道が追加決定され、8の字形にネットワークされようとしていますが、同時に本州・四国連絡橋とのアクセス道路網も完全にネットワークされて高速時代への展望がひらけ、四国の離島性が解消されることとなります。

一方、西瀬戸経済圏も第四次全国総合開発計画においてインターブロック交流圏のモデル地区として取り上げられ、長浜港はアジアサブポートとして位置づけられました。なお九四海底トンネルが実現されれば、長浜町は松山市と佐田岬上線の間位置することから、長浜港の重要性はさらに高くなります。

このような状況から長浜町総合整備基本計画では、海上交通の拠点整備と合わせて、総合的道路計画を策定しています。

4. 町土の総合的

組み立てとビジョン

町土の利用計画は、公共の福祉

を優先させ、自然環境を保護しながら、地域の経済的、文化的環境の整備を目指し、均衡ある発展を図ることを基本として総合的、計画的に行わなければなりません。そのためには、現在の主要交通網との相互コミュニケーション関連を考慮した上で、町土の構造と将来への課題を示し、創造的視野で見直しながら総合的な将来的ビジョンを設定します。

(1) 現在の主要交通と相互コミュニケーション関連

現在の主要交通は、国道三七八号、県道大洲長浜線、県道長浜中村線、県道長浜保内線の計四本の主要道路と、JR四国予讃本線(海岸線)です。

長浜町の行政・経済・コミュニティの中心は長浜地区であり、今坊(臨海部)・晴海・沖浦・須沢・榑生・出海地区とは海岸線をつなぐ国道三七八号で、また、仁久・上老松・下須戒・白滝・柴地区とは肱川両岸の県道大洲長浜線、県道長浜中村線で結ばれ、黒田・今坊(山間部)とは県道藤縄長浜線や町道によって連絡されています。なお、青島地区とは、一日一往復(七・八月は二往復)する定期連絡船で結ばれています。

(2) 現在の町土の構造と課題

① 海岸沿岸地域

長浜町の地勢は、瀬戸内海伊予灘に面した臨海部と、肱川沿いの平野部、さらに壺神山(標高九七

一)・金山出石寺(標高八二〇)を頂点とする山間部の三つに分けることができます。

このように複雑な自然的、地理的条件の地勢を基本に、各地区の交通体系、生活文化、産業構造、コミュニケーション関連を考え合わせた上で次の七地域に再区分し、町土の構造(組み立て)と、その課題を示してみました。

① 海岸沿岸地域

この地域は、今坊(臨海部)・晴海・長浜・沖浦・須沢・榑生・出海地区といった海岸線に連なる地域で、国道三七八号によって結ばれており、沖浦地区から出海地区に至る海岸は、特徴ある景観に富んでいます。

また、長浜地区から今坊地区間にかけては臨海部用地造成が行われ、現在も造成工事が進んでいます。

この地域の課題は行政、経済の中心である長浜地区の都市機能、生活環境施設の整備拡充であり、住宅対策として長浜、仁久、沖浦地区の工業再配置と、都市再開発を推進しなければなりません。

一方、主産業である農・漁業については、柑橘の品種向上による農業の振興と活性化及び魚礁設置、養殖施設の整備による漁業の振興を図る必要があります。さらには海岸レクリエーション資源を有効に利用していかなければなりません。

② 肱川沿岸地域

この地域は、長浜・沖浦・仁久・下須戒・上老松・白滝・柴地区

と連なる肱川沿岸の比較的平坦地の多い地域で、県道大洲長浜線、県道長浜中村線によって結ばれています。

当地域は、海水浴場、沖浦観音、大陰城跡、白滝公園等の観光資源に恵まれているので、地域特有の「肱川あらし」を有効に活用するなど、魅力的なリゾート開発として積極的に推進しなければなりません。

③ 内陸農林業地域

この地域は、大和川流域の豊茂、穂積地区で、県道長浜保内線により結ばれています。

当地域の主産業は農林業で、主産物は米、しいたけ、キウイフルーツ、ぶどう、杉、桧等です。

この地域の課題は、交通ネットワークの整備と、野菜、果樹等の施設園芸を推進し、農業の振興と活性化を図ることです。

④ 高地林間地域

この地域は、山間集落が点在する戒川地区で標高三五〇〜五〇〇に位置し、町道大平線により白滝地区と連絡されています。

当地域の主産業は農林業ですが、近年は農林業の不振に伴う町外転出が多いため、過疎化と従事者の高齢化が進み、雇用の場の確保が必要となっています。

この地域の課題は、道路の早期整備と、農林業の新たな振興策を立てることです。

⑤ 高地臨海地域

この地域は、海に面した山間地域の、黒田、今坊(山間部)地区

で青島をはじめ瀬戸内海の島々を見わたすことができます。

当地域の主産業は柑橘を主体にした農業ですが、農地が急斜面のため生産性が低く、衰退の傾向にあります。

この地域の課題は、農業の基盤整備と美しい自然環境を活用した振興策を見出すことです。

⑥ 高地肱川岸地域

この地域は、大越地区を中心とした中山間地域で、肱川に面した標高約三〇〇の高地に位置しています。

当地域は過疎化傾向が顕著で、将来は地域の特徴である美しい景観を生かした振興策を立てる必要があります。

⑦ 青島地域

この地域は、長浜港から北方約十三・五キロの伊予灘中央に位置する小島で、一日一往復(七・八月は二往復)の連絡船で本土と結ばれています。

島民のほとんどが漁業等で生計を立てていますが、地理的条件による過疎化、高齢化(平均年齢六五・五歳)が深刻な問題となっています。

この地域の課題は、生活環境の整備を図るとともに、海洋性リゾート地としての振興を図ることです。

(3) 町土の組み立てと将来的ビジョン

将来的ビジョン

国は、第四次全国総合開発計画で多極分散型国土の形成を目指し

町の将来像

定住と交流による地域の活性化を基本目標と定めています。

愛媛県は、長期計画で九四海底トンネル構想を有し、西瀬戸経済圏の形成を推進する一方、東・中・南予の特性を生かした開発計画を推進しています。

長浜町においては、第一次・第二次開発事業に続く第三次開発事業を推進するとともに、四国縦貫自動車道をはじめ、国道、県道への連絡道及び港湾整備を積極的に進め、広域的な海陸交通ネットワークの形成を行います。特に第三次開発事業計画では、企業誘致と生活環境施設等を整備して、町民の生活が向上するよう町土の将来的ビジョンを具体化しなければなりません。

そのためには、「第三次開発事業」と「リゾート開発」を基本に各地区ごとの特性を生かした

① 海岸沿岸地域、肱川沿岸地域、青島地域の有効利用

② 内陸農林業地域の活性化

③ 高地林間地域、高地臨海地域、高地肱川沿岸地域の活性化と産業構造の転換

の三大要件を中心に、町全体の活性化に通じるビジョンでなければなりません。

5. 町土利用の方針

(1) 現況と課題

長浜町は肱川河口に発展した町であり、肱川流域に点在する若干の平坦地を除いて大半が山地です。

農地は肱川のデルタ地帯いっばいに広がり、背後地は少ない状況にあります。このため、現在、臨海部に第二次開発事業として埋立造成工事を実施中で、昭和六十四年度に完成の見込みです。

さらに、将来の第三次開発事業として、工業用地、港湾施設用地、都市機能施設用地、生活環境施設用地等の埋立造成を計画しています。

このような状況下での町土利用計画には、次の四つの課題があります。

① 臨海部開発事業にともなう総合的調整を目指した土地利用

② 農林水産業の振興と新たな展開をめざした土地利用

③ 海と山と川に恵まれた長浜町特有の美しい自然環境と歴史的風土を生かした個性的な町づくりを目指す土地利用

④ 環境保全と公害・災害防止を旨とした土地利用

(2) 町土利用の基本方針

町土の利用は、将来的ビジョンに従って計画するとともに、「第三次開発事業」と「リゾート開発」を基本軸として、全町に波及効果が及ぶよう努めることを基本方針とします。

町土の利用目的に応じた基本方針は次の通りです。

① 市街地については、生活環境向上のため、都市機能施設の更新や、公共施設用地の確保に努める。

② 宅地については、望ましい居住水準の達成に努め、安い宅地を各地に分散供給する。

③ 農地については、優良農地を確保し、安定した作物の生産と特産品の開発に努め、生産性の向上を目指す。

④ 森林については、林業の基盤整備や水源の涵養、自然環境の保全を行う。また、森林資源を活用したリゾート・レクリエーションの場としての有効利用を行う。

⑤ 臨海開発地区については、第二次・第三次開発事業を推進する。

⑥ 海岸地域については、沿岸漁業の整備や作る漁業を推進するとともに、レジャー漁業の振興を図る。

⑦ 河川、水路については、環境の保全と災害防止のため、その整備を推進する。

⑧ 一般道路については、市街地内外の交通緩和と、生活基盤の整備を行うための用地確保。農林道については、農林業の生産性向上と農林地の適正な管理を促進するため必要な用地の確保に努める。

広域的ネットワークを担う道路については優先的に整備する。

⑨ リゾート開発については、各ポイントの開発とともに、手法を決定し、総合的に開発する。

町民こそって

汽車、バスを

利用しましょう

無火災で過ごそう ゆく年 くる年 !!

一日と寒さを増し、山の頂きには白い冬の便りが届く季節となりました。

これからは、暖房器具、たき火等火を使う機会も増え火災の多くなる季節です。特に年末年始は生活のリズムが崩れ、火に対する注意が薄れがちになります。

火災の多くは、私達のちょっとした油断や不注意から起こっています。家族そろって楽しい年末年始を迎えるため、次のことに注意して下さい。

寝タバコは絶対にしてはいけないこと、またさせないこと。

年始は

初詣や里帰りなど外出する機会が多くなり、また家庭ではコタツやストーブを囲み夜ふかしする日が多くなるなど、生活のリズムが崩れ、火の元がおろそかになりがちです。

年末は

大掃除、忘年会と何かと気ぜわしくなり、火に対する注意が薄れがちになります。

① お年寄りや病気の、幼児だけを残して外出しないこと。

② 外出する時には、ガスの元栓や電源コードなど、火の元をもう一度確認し隣り近所に声をかけて。

③ 石油ストーブには燃えやすいものを近づけないよう注意し、火をつけたまま給油したり移動したりしないこと。

④ 寝る前には火の元を点検し、防火に対する正しい習慣をつけること。

以上のことに注意して、皆さん一人一人が声をかけ合、火災のない楽しい年末年始を過ごしましょう。



議会 第4回臨時会

長浜町議会第四回臨時会が十一月八日に開かれました。

今回上程され審議された議案は、一般会計補正予算、公有水面埋め立てについて、請負契約の締結二件の四議案で、いずれも原案通り可決されました。

町道大平線

工事請負費など

一般会計補正予算

昭和六十三年一般会計に四千四百五十万七千円が補正され、予算総額は四十億三千九百三十三万二千円となりました。

今回補正されたおもな使いみちは次の通り。

【農林水産業費】豊茂地区治山工事請負費ほか千二百八十四万円。

【土木費】町道大平線工事請負費ほか三千四百六十万円。

水道管の凍結を

防止しましょう

水道課

毎年冬になると、各地で蛇口や水道管が凍結破裂しています。

凍結破裂をなくすため、給水管や蛇口には布切れや毛布、あるいは専用の保温材を巻き、濡れないように上からビニールテープをすき間なく巻くなど、早目の冬仕度をお願いします。



櫛生漁港修築工事

請負契約を締結

昭和六十三年度櫛生漁港修築工事(分割二)は、一億三千九百万円で株式会社清水建設と請負契約を締結することが承認されました。

免除を受けた保険料

は追納できます

国民年金

保険料の免除を受けた期間がある人は、十年前の免除された期間までさかのぼって納めることができます。この場合、古い期間から順番に納めていくこととなります。

昭和六十一年四月以後の免除された期間について追納する時は、保険料の免除を受けた期間が追納

【災害復旧費】ウノヒ頭首工復旧工事請負費ほか七百二十万八千円。

する日の年度から二年度を過ぎている場合は、当時の保険料に政令で定める額が加算されます。

保険料を納めた期間は、免除のままの期間よりも将来年金を受けるのに有利になりますから、免除の期間は追納をしておきましょう。

住宅需要実態調査に

ご協力ください

建設省では、都道府県、市町村の協力で、十二月一日に全国にわたって「昭和六十三年住宅需要実態調査」を行うことにしています。

この調査は、国や地方公共団体の住宅施策を行う上で重要な資料となるものです。

愛媛県では約千世帯に調査をお願いすることになっていきますので、調査員が伺いましたらご協力をお願いします。

カモ類の

狩猟について

○「ガンカモ科鳥類の生息調査」が実施される一月十五日から十七日までの三日間は、「カモ類センサスの日」(カモ類一斉調査の日)です。この期間は、カモ類の狩猟を行わないようにお願いします。

○淡水ガモのヨシガモ及びハシビロガモは、「ガンカモ科鳥類の生息調査」の結果によれば、生息数が少ないため、捕獲の自粛をお願いします。

長浜文芸

白滝俳句会

蕨虫の糸のまだ伸ぶ山の寺

森 悦子

十六夜へ剪りし芒の紅ほのか

都築いち子

ふみの日の娘に同封す紅楓

清水 植子

火と燃ゆるつるべ落しの佐渡の海

岡野ノブ子

霧晴れて橋の辺もつとも紅葉濃し

上田ミツ子

川霧や釣人微動だにせざる

上田 孝子

蛸や滝の織りなす戦国史

上田 正

サルビヤの町花となりて街にぎし

一宮 菊枝

日曜当直医

十二月の日曜当直医は次のとおりです。受付時間は午前十時から午後五時までで、診療は救急患者の方だけです。

乳児健診

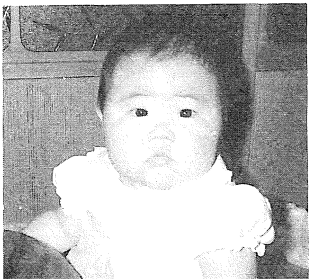
◎12月8日 町体育館 午後1時から2時 対象は昭和63年1月、4月、7月生まれのお子さん。

◎12月15日 町体育館 午後1時から2時 対象は昭和60年9月、10月、11月生まれのお子さん。

一歳ですコンニチハ 65

鎌田亜沙美ちゃん(白滝)

読みやすくかわいい名前、それとお兄ちゃん希望も入れて亜沙美と付けました。近所に子供がいないので、みんなに「あーちゃん」と呼ばれてかわいがられています。



昭和62年12月18日生まれ

(父||充さん・母||眞由美さん)

現在長浜町の財政

財政状況の公表

長浜町の財政事情の作成および公表に関する条例により昭和63年度9月末現在の財政状況を公表します。

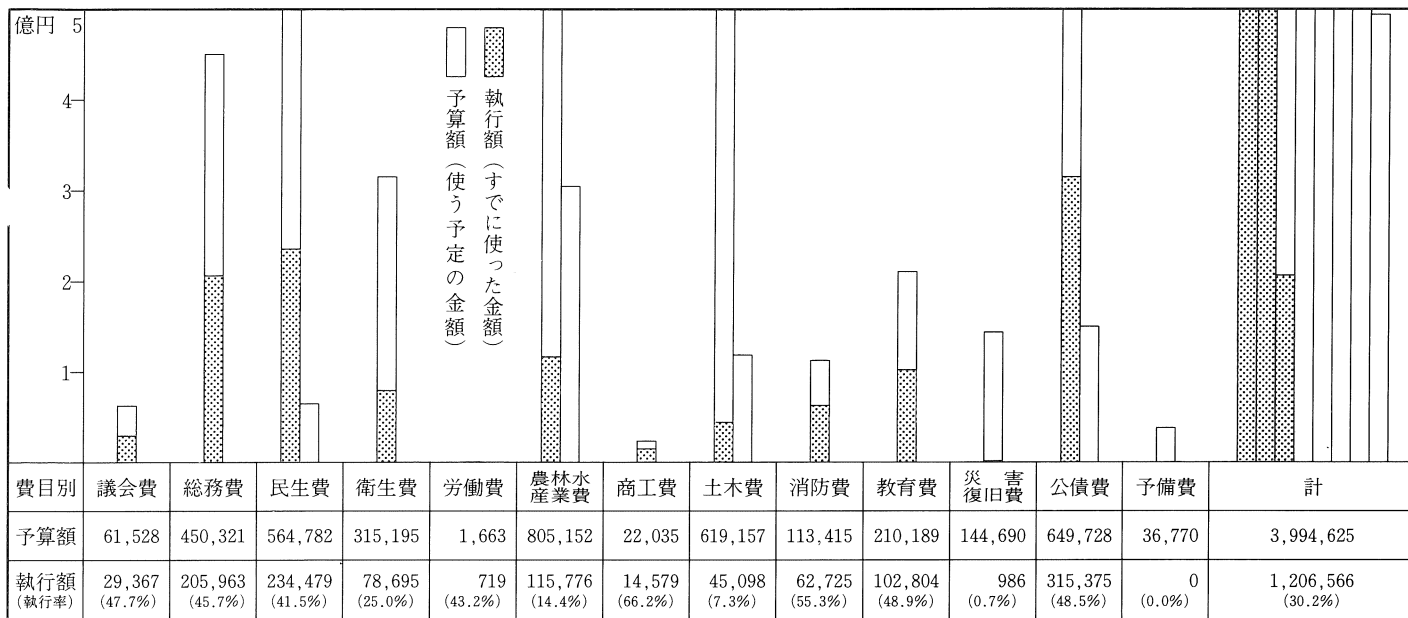
昭和63年11月 長浜町長 西田洋一



会計

歳出（使うお金）

（単位：千円）



特別会計

国民健康保険



予算額 1,006,547千円
収入済額 375,898千円
支出済額 317,398千円

国民健康保険直営診療所



予算額 10,633千円
収入済額 1,927千円
支出総額 6,269千円

臨海土地造成事業



予算額 2,045,055千円
収入済額 0千円
支出済額 145,361千円

老人保健



予算額 931,880千円
収入済額 377,501千円
支出済額 385,935千円

住宅新築資金等貸付事業



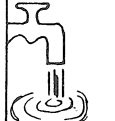
予算額 36,476千円
収入済額 6,924千円
支出済額 10,641千円

港湾施設事業



予算額 13,214千円
収入済額 4,247千円
支出済額 6,442千円

簡易水道事業



予算額 108,798千円
収入済額 267千円
支出済額 36,173千円

水道事業会計

収益的収入済額	79,509千円
収益的支出済額	73,692千円

工業用水道事業会計

収益的収入済額	6,736千円
収益的支出済額	9,207千円

税別収入状況

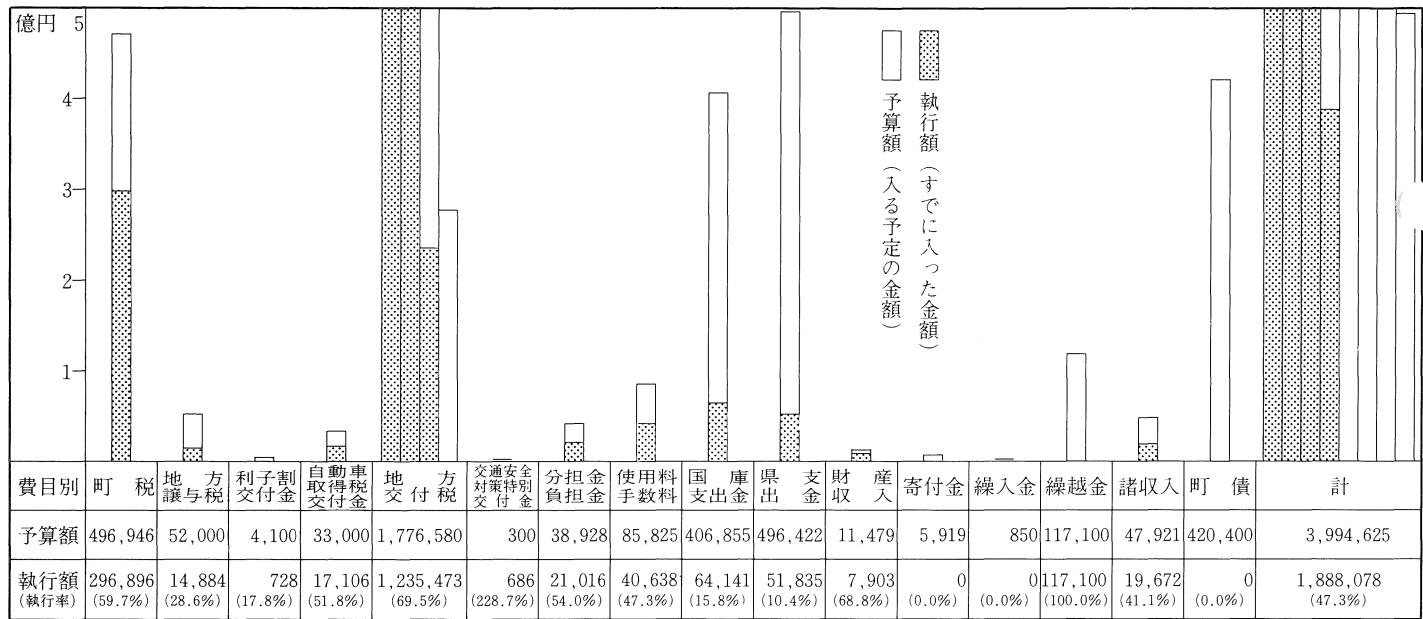
（単位：千円）

税種別	予算額	収入済額
町民税	222,923	134,338
固定資産税	191,528	111,597
軽自動車税	11,637	12,083
たばこ消費税	45,000	24,878
電気税	25,635	13,787
木材引取税	10	0
特別土地保有税	213	213
合計	496,946	296,896

昭和63年度9月末

一般

(単位：千円) 歳入 (はいるお金)



人間としての尊厳を認めよう

人権週間・12月4日～10日

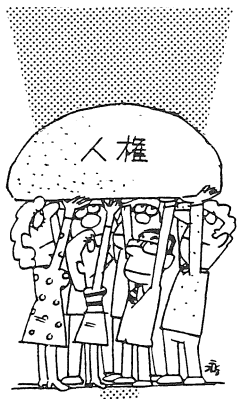
いじめ、体罰やプライバシーの侵害、同和問題など、さまざまな形で人権問題が表面化しています。こういった問題は、一人一人の考え方の違いや集団心理的作用によつて生じるといわれています。

しかし、こうした差別や虐待は、同じ人間である以上許される行為ではありません。私達は、もっと人権について真剣に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

より幸福な人生を送るために

人権とは、一口にいえば、「日々の生活の中で、より幸福な人生を送るために、人間としてもつて当然の権利」といえます。ところが、「自分の権利は主張し、相手の権利は認めさせようとするが、相手の権利は認めない」というような最近の風潮は、少なからず他人の人権を侵害することがあります。

「意識せずにやったことだ」と言っても、相手の心には一生忘れられない



い傷となって残るかもしれません。そこでまず、「他人にも人権があり、自分の人権を主張する権利は、他人の人権を尊重する義務と理論的に結びついている」という人権の基本を、一人一人が自覚することが大切です。言葉を換えれば、人間としての尊厳を認めることだといえるでしょう。

人権についての相談は 人権擁護機関へ

今年の人権週間では「国際化にふさわしい人権意識を育てよう」「いじめ、体罰の根を絶とう」「部落差別をなくそう」「女性の地位を高めよう」「障害者の完全参加と平等を実現しよう」の五項目を強調事項としています。

差別、いやがらせ、家庭問題、近所とのめめごと、子供らのいじめ、体罰の問題などでお困りの方は、お近くの人権擁護委員か法務局またはその支局へご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

長浜町の人権擁護委員は次の方々です。

長浜 黒田 進さん ☎0369
出海 黒田 三盛さん ☎0120
柴 土居孝童さん ☎0002

長浜の今日と明日を考える

〜長浜地区町づくり懇談会〜

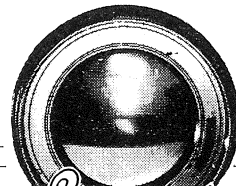
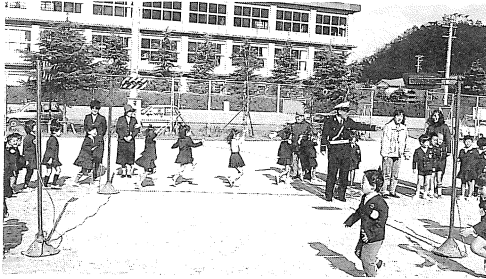
長浜地区の住民約百人が参加して、昭和六十三年度長浜地区町づくり懇談会が十一月五日、町体育館で開かれた。これは、地区住民の率直な意見を行政に反映させていこうと昨年からはじめられたもので、今年度の長浜地区は「開発事業と町づくり」をメインテーマにいろいろな角度からの意見交換が行われた。



横断歩道は手をあげて

〜交通安全教室開く〜

十一月十九日、長浜公民館（藤枝廣美館長）の主催による交通安全教室が町民グラウンドで開かれ、お年寄りや園児約百人が参加。長浜警察官派出所（山本鉄也所長）の警察官の指導のもと、横断歩道の渡り方や、車のスピードと制動距離の関係などについて学習した。



いきいきコミニケート

長浜公民館（藤枝廣美館長）の主催による親子サイクリングが十一月十三日に開かれ、町内の親子約二十人が参加した。これは、親子のコミュニケーションと健康づくりに行われたもので、大洲市五郎までのコースを全員が完走。心地よい汗を流した。



バウチャー

〜小長浜に無人物産販売所完成〜

町づくり委員会特産品部会（大成豊功部会長）で取り組んでいた無人物産販売所が十一月二十二日、小長浜に完成した。この無人販売所は、町内で生産される物産を販売するとともに、PR活動を通じて町の活性化を図ろうというもので、農協婦人部など六団体が管理運営委員会（東吉成会長）を組織し、販売している。



町立図書館だより

新刊図書

案内

野生ゾウの世界

岩合穂光

ペンギンのくに

鳥居鉄也

食虫植物のひみつ

清水 清

シラサギの森

田中徳太郎

タンチョウの四季

林田恒夫

星座をさがそう

藤井 旭

カニのくらし

桜井淳史

アゲハチョウ

佐藤有恒

ヒマワリのかんさつ

叶沢 進

イネの一生

守矢 登

ミツバチのふしぎ

栗林 慧

惑星をみよう

藤井 旭

わたり鳥のひみつ

行田哲夫

しょうにゅうどう探検

徳富一光

種村ひろし

館石 昭

海のさかな

セミの一生

佐藤有恒



見舞金は手続きを

心身障害者見舞金

身体障害者手帳あるいは療育手帳の交付を受けて、十二月一日現在長浜町に住んでおり、住民登録をしている人には、十二月に見舞金が交付されます。

この見舞金を受けるためには、定められた様式で申請手続きをしなければなりません。詳しくは、役場住民課(☎52-1111)へお尋ねください。

【身体障害者手帳】一級、二級の

方：五千円▽三級、四級の方：四千円▽五級、六級の方：三千円
【療育手帳】Aの方：五千円▽Bの方：四千円

あなたのやさしさを

NHK海外たすけあい

日本赤十字社とNHKが主催する「NHK海外たすけあい」が今年も十二月一日から二十五日間、実施されることになりました。義援金の受付(取次)窓口は、全国の郵便局、都市・地方銀行をはじめとする各金融機関、農協、

アメリカ農業研修体験記

③

都築佳子(下須戒)

ある日私達は「豚の世話をします」とメアリーに言いました。しかしメアリーは「とんでもない、汚れるからいい」と答え、除草だけしかさせてもらえませんでした。

アボダカ家に来て十日間、私



四頭の馬で山を駆けめぐった時

達は毎日どこかへ遊びに連れて行ってもらいました。しかし、その時以外私達は「隣の犬が噛むから」と外へ出してもらえませんでした。家においてもすることのない私は、とても退屈で、気をもんでいました。他にも、英語をあまり話さないなど、この家への不満もあり、何より、一人でホームステイをしたかった私は、mr.ウイビーに連絡し、家をチェンジしてもらおうことにしました。

私がアボダカ家を出る時、メアリーは涙を流して見送ってくれました。とても良くしてくれたアボダカ夫妻に申し訳ない気持ちで一杯でしたが、十四日間滞在したアボダカ家のあるマデラを後にし、ウイビー夫妻と共に、ハンフォード

表彰***

桜田和夫議員 堤 正和議員

自治振興に功績

柴の桜田和夫議員(五七)、長浜の

漁協、NHK各放送局、日本赤十字社各都道府県支部、赤十字病院、赤十字血液センターで行っています。皆さんのあたたかいご協力をお願いします。

津田副議長ら五人

自治振興に功績

今坊の津田龍雄議員(五四)、沖浦の二宮英二議員(五五)、黒田の東正

堤正和議員(五三)は、町議会議員として二十年にわたり地方自治の振興発展に功績があったことにより、十月二十五日、高松市で開かれた第二十九回四国四県町村議会議長・職員研修会の席上、高橋茂四国地区町村議会議長会長から表彰されました。

清水さんら四人

社会福祉活動に功績

十月二十日、県民文化会館で開かれた第三十六回愛媛県社会福祉大会の席上、柴の清水恵津子さん

行議員(五三)、大越の久井貞治郎議員(五七)、出海の和田永吉議員(五七)の五人は、多年町議会議員として自治振興に功績があったことにより、十月十八日に町体育館で開かれた第三十七回喜多郡町村議会議長大会の席上、池田久吉喜多郡町村議会議長から表彰されました。

長高VYSほか五人

ボランティア活動に功績

長浜高等学校VYS(木村由美部長)は、毎週「子供とのふれあい読書会」を開いてボランティア活動に功績があったことにより、また、長浜の谷川通子さん(五五)、沖浦の平野春子さん(五三)、長浜の松田昭子さん(五〇)、長浜の丸山正

へ向かいました。友達と別れ日本語を話す相手のいなくなつた私は、改めて「外国に来てるんだ」と実感しました。

ハンフォードに着いた私は、馬場を経営している家に預けられました。老人二人の前の家に比べると若い家族構成で、メアレン(三七歳)と子どもジェッド(九歳)とトゥラベス(六歳)の家は農家ではなく農業の実習は全くありませんでした。しかし、馬の餌やり、糞の掃除、トラックのオイルチェンジなど、今までにしたことのない事をする事ができました。そして期待どおり馬に乗せてもらうこともできました。小学生の時の修学旅行先で、リードロープを引いてもらい歩いたことがあるだけです。だから、リードロープを自分で持ち、自分が馬を操るのは初めてでした。にもかかわらず、メ

アレンは次から次へと教えてくれ、二日目は早、リズムどおりに走ることができるようになりました。背の低い私は、サドルの足かけに足が届かず、そのため踏ん張ることができず尻もちをつきながら、足で馬のお腹をしっかりと挟み、振り落とされないように必死になりました。とても怖い思いもしましたが、落馬することもなく馬を操ることができました。この時、驚いたことがあります。いくら街外れとはいえ、車の通る道を馬に乗って歩くということ。庭で放し飼いになっている馬が、子供達が閉め忘れた扉から道路に出て、駆け回っていたことさえありました。こんなのかなや雰囲気がとても気に入りました。また、広大な土地を眺めていると、今までより大きい心で物事を見れるような気がしました。

子さん(四三)、長浜の頼永砂代子さん(三三)ら五人は、図書貸し出し等のボランティア活動に功労があったことにより、十一月三日、町体育館で開かれた長浜町読書活動推進大会の席上、金橋通朝長浜町立図書館長から感謝状が贈られました。

納税組合白滝支部

国民年金事業に功績

長浜町納税組合白滝支部(坂井彌八郎 支部長)は、国民年金事業に功績があったことにより、十一月十日に伊予市で開かれた国民年金委員地区別研修大会の席上、下村健社会保険庁長官からの表彰状が伝達されました。

募集

私のまち

写真コンテスト

「まち」の姿を自由な発想、独特の視点でとらえた写真を求めま



辰の年も残り1ヶ月になった。竜は鱗虫の長で、ある時は雲を起し、ある時は雲を呼び、ある時は淵に潜み、千里をひと飛びし勢のよい動物に例えられる。年の始めに、あれもこれもと色々な決意を胸に新しい年を迎えたのも、ついこの間のことのような気がする。「光陰矢の如し」とはよく言ったものだ。今年こそと自分に言い聞かせた事で、一年間続いた事はいくつあっただろう。「竜頭蛇尾」に終わった事があると、根気のなさに嫌げがさす。性急・焦躁・短気は処世の禁物とされている。一步一步山を登るように地味な努力をし、ムリをせず、僅かな暇を惜しみ続けてこそ、やり通した喜びを味わうことができる▲最近の新聞記事には国民の死活にかかわる記事が氾濫している。税制改革記事、オレンジ・牛肉・米の自由化問題。特に柑橘の減反割当や米の減反割当は農民の生活をおびやかす、瑞穂の国日本の冒とくである。国を挙げて国策の一大転換期といえよう。全世界の国々が相手の立場を理解し、般若心経の七種の布施の心に徹し、国々が手を握ることだ。辰年を終るに当り猛反省を望む。

寄付採納

○長浜の戸田保志さん：一般図書「まちづくりと公民館」を町立図書館へ。
○長浜の渋川誠郎さん：一般図書五十六冊を町立図書館へ。
○沖浦の津田勝利さん：一般図書十冊を町立図書館へ。

結婚



10月長浜町役場届出分 (敬称略)
10月10日長浜町のトップは 上田篤伸・文字さんのカップル

住所氏名 婚姻時年齢
豊茂 上田 篤伸 (三四)
大洲市 祖母井 文子 (二四)
長浜 高崎 基近 (三〇)
大洲市 久保 美樹 (二〇)
松山市 新谷 和滋 (二四)
沖浦 佐藤 眞弓 (三三)

お誕生おめでとう!!

10月届出分 (敬称略)
住所 保護者氏名 続柄 児名
沖浦 山尾 淳志 (二七)
小松郡 藤井 悦子 (二四)
下須戒 小林 吉安 三女 紗代
下須戒 梁田 嘉春 二男 光
沖浦 兵頭 泰晴 長男 裕介
長浜 東 昇 三女 巴
沖浦 足利 孝弘 長男 俊輔

おくやみ

10月届出分 (敬称略)
住所 氏名 死亡時年齢
柴 上田 喜見 (八七)

こたつを出る時は

電気こたつは、スイッチを入れるとすぐ暖まります。こたつを出る時は、スイッチを切る習慣をつけましょう。また、温度調節ダイヤルで、熱すぎないように手まめに調節しましょう。 四国電力



編集後記

とうとう今年も最後の月になりました。ありふれた感想なのですが、「もう終わり?、早かったなあ」という感じです。年齢とともに時間が経つのが早くなるとよく言いますが、人間の時間に対する感覚というものは、実際にそういうところがあるのだそうです。何をしたらいいのかからないような一年にならないよう、一日一日を大切にしたいものです。ところで、最近町内で火災が多発しています。空気が乾燥していると、ちょっとした油断、不注意から火災になります。火を使うことが多い季節ですのでくれぐれも注意してください。今年一年、広報ながはまの編集に協力して頂いた皆さん、ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

人口世帯数

人口をふやしましょう

	11月1日現在	前月との比較
人口	11,768人 (男 5,547人 女 6,221人)	17人減 (10人減 7人減)
世帯数	3,773世帯	6世帯減